

ことしは「かき氷の日」

燕RC、ことしもつばくろの里でかき氷

燕ロータリークラブは、社会奉仕活動の一環として、毎年、夏のこの時期に「施設利用者にかき氷を振る舞った。同ロータリークラブで

は、社会奉仕活動の一環として、毎年、夏のこの時期に「施設利用者にかき氷を振る舞った。同ロータリークラブで

用意したのは、機材や水のほか、イチゴ、メロン、レモンの三種のかき氷用シロップに、施設利用者に人気の練乳のトッピング。味を左右する氷は会員が取り扱っているブロックアイ

スを利用しており、ことしは百五十四食分を用意した。

はじめに参加した十三人の同ロータリークラブのメンバーを代表し、青柳修次会長があいさつ。「きょう七月二十五日はかき氷の日にな

なっているそうです。こしもみなさんと一緒にかき氷を楽しみたいと思っております」と呼びかけた。

毎年、施設利用者が待ちにしている行事ということもあり、利用者らは準備のときからかき氷のシロップや機材にくぎ付け。その後、二カ所に分かれて、同クラブの会員がかき氷を提供すると、利用者は順番に受け取っていた。



この日は、三十度を超える真夏日ということもあり、それぞれが希望したシロップのかき氷をほおぼっていた。

(細山)